

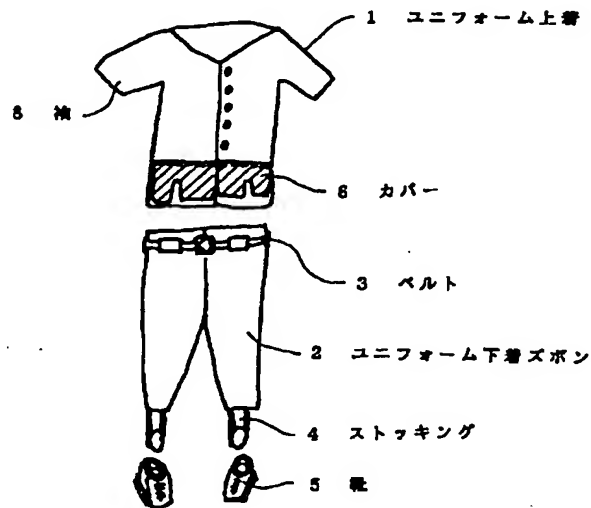
**Partial Translation of Japanese Unexamined Utility Model
Publication JP-Y 6-69215**

Publication Date: Sep. 27, 1994
Application No. 5-17209
Application Date: Mar. 2, 1993
Applicant: Takahiro AMANO
Inventor: Takahiro AMANO

Part A (Page 1)

[Constitution] The device is characterized in that a cover (6) is provided at the abdomen of a uniform (1), put on uniform pants (2), and inserted under or covers up a belt (3).

- 1 uniform jacket
- 2 uniform pants
- 3 belt
- 4 stockings
- 5 shoes
- 6 cover
- 8 sleeves



Part B (Page 2)

[Utility Model Claims]

[Claim 1] A sporting uniform comprising a cover (6) provided at the abdomen of a jacket (1).

[Claim 2] A sporting uniform characterized in that jacket (1) is formed as to have a length such that reaches a slightly lower part of the belt position and a supplementary cloth is provided inside a jacket body.

①

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-69215

(43)公開日 平成6年(1994)9月27日

(51)Int.Cl.⁵

A 4 1 D 13/00
1/02
27/12

識別記号

Z
Z

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 2 頁)

(21)出願番号 実願平5-17209

(22)出願日 平成5年(1993)3月2日

(71)出願人 593067343

天野 ▲高▼廣
神奈川県横浜市金沢区平潟町19番11号102
号室

(72)考案者 天野 ▲高▼廣

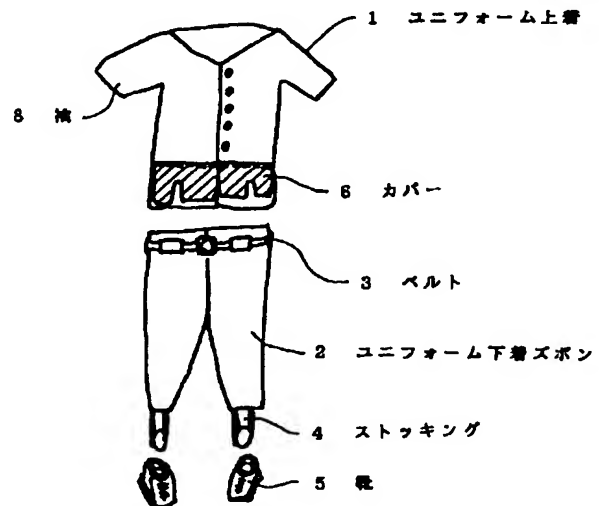
神奈川県横浜市金沢区平潟町19番11号102
号室

(54)【考案の名称】 スポーツ用ユニフォーム

(57)【要約】

【目的】 ユニフォームの腹部にカバーを付ける事によりヘッドスライディングをした時に、上着と下着（ズボン）の間に土砂などが入らないようになる。ヘッドスライディングをする度にタイムをかけ、上着と下着（ズボン）の間に入った土砂を取除くのに苦勞した。又、試合時間の短縮にもなり、一層のスピード化を計れる。ランナーで出塁の時のけんせい球にもヘッドスライディングでその為のタイムも多い。試合時間の短縮により節電（照明）にもなる。

【構成】 ユニフォーム（1）の腹部にカバー（6）を設け、そのカバーをユニフォーム下着ズボン（2）の上にのせ、ベルト（3）の下に差し込む。又はベルト（3）の上をカバーする事を特徴とする。



⑧

(2)

実開平6-69215

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 上着（1）の腹部にカバー（6）を設けたスポーツ用ユニフォーム。

【請求項2】 上着（1）の長さをベルト位置よりやや下となる丈として形成し、この上着本体の内側に補助布（7）を設けてなるスポーツ用ユニフォーム。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の正面図である

【図2】 本考案の要部断面図

【図3】 本考案の他の実施例の正面図

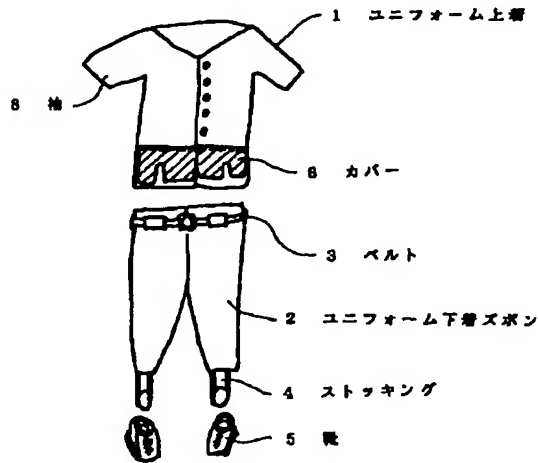
【図4】 本考案の他の実施例の要部断面図

*【図5】 本考案の実施例の他の使用状態を示す要部断面図

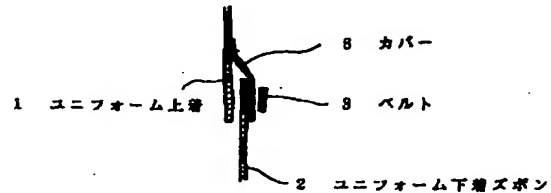
【符号の説明】

- 1 ユニフォーム上着
- 2 ユニフォーム下着ズボン
- 3 ベルト
- 4 ストッキング
- 5 靴
- 6 カバー
- 7 補助布
- 8 袖

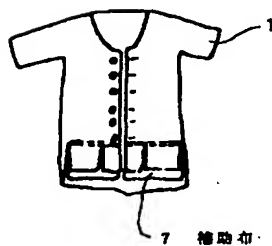
【図1】



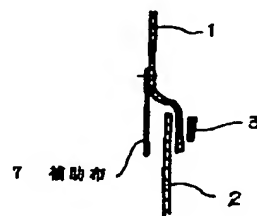
【図2】



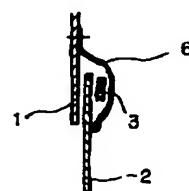
【図3】



【図4】



【図5】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案はスポーツ用衣服の腹部にカバーを付けたユニフォームに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来ユニフォームのシャツはズボンの内側に入れていた。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

例えば野球のようにヘッドスライディングすると、ユニフォームの上着と下着の間に土砂が入り、取り除くのに苦勞した。本考案はこれらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

ユニフォームの上着(1)の腹部にカバー(6)を別体として縫製する。

本考案は以上のような構成よりなるスポーツ用ユニフォームである。

【0005】**【作用】**

シャツに付けたカバーをズボンの外に出すことで野球試合中、ヘッドスライディングをしたときに土がズボンの中に入らない。

【0006】**【実施例】**

本案の実施例を図面に基づいて詳述すれば、図1は本考案の実施例を用いたユニフォーム全体をあらわす図面であって、本案の構成は当該ユニフォームの腹部、特に通常着用する場合、ユニフォームの下着ズボンの中へ入れられる部分に、その胴部周囲にわたって帯状にカバー(6)を縫製するものである。

この縫製はカバーの上縁部においてのみなされ、形態上は、ヒレ状に近いものとなる。

また、このヒレ状部分を下着ズボンとベルトとの間へ差し入れて着用するため、適宜に縦状の切り込みを入れる。

これにより、ユニフォーム上着の従来の部分は、そのままズボンの中へ差し入れ、本考案カバーの部分はズボンの上へ出し、ベルトの間へ差し入れて使用し、土砂等の侵入を防ぐものとするのである（図2における使用状態参照）。

また、着用方法そのものに関しては、本案カバーをベルトとズボンの間へ差し入れず、ベルトの外へ出しておくことも考えられる（図5参照）。

さらに本考案の他の実施例として、カバーを別体として縫製するのではなく、ユニフォーム上着そのものに本案のような構成をもたせることによって、上記実施例と同様の作用効果をもたらすことも可能である。

即ち、図3、図4に見られるように、先ずユニフォーム上着そのものの丈を、通常のそれより短く、ズボンのベルト丈よりもやや下に位置するように形成し、加えてこの上着の内側に帯状に補助布を設けるものである。そして、ユニフォーム上着そのものに、縦長に切り込みを入れ、着用法として、補助布の部分をズボンの中へ差し入れ、ユニフォーム上着本体の裾部分、その切り込みが形成された部分をズボンとベルトの間へ差し入れるのである。

【0007】

【考案の効果】

以上述べた点により、本案のユニフォームを着用することにより、上着と下着の間へ、土砂が入ることなどがなくなる。

このためスポーツ特に、野球の際のスライディング時などにおいて効果を発揮するユニフォームを提供することができるようになる。